



本日のプログラム

「メインバンクは頼りになるか」

函館信用金庫 理事長 上條 博英 氏

次週のプログラム 5月5日(火)

「祝日休会」

5月12日(火) 観桜会 於 旬花 pm6:30

ロータリーをもっと学ぼう明日のために

2014~2015年度 会長 五十嵐 稔

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長/五十嵐稔 ●副会長/森元浩 ●会長エレクト/宮崎あけみ
- 幹事/國谷大輔 ●副幹事/佐藤美子
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2798回例会 2015年4月21日(火)天候 晴

月間テーマ 雑誌 月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 五十嵐 稔 会長

■会長報告

1、4月16日(木)10・11グループ第5回会長幹事会が開催されました。

■幹事報告

1、長崎東RCより会報が届きましたので回覧いたします。

2、4月30日(木)函館RC、5月1日(金)函館五稜郭RCの例会はそれぞれ自主休会に変更いたします。

3、例会終了後、臨時理事会を開催いたします。

## 「津軽海峡に夢かける」

本州・北海道架橋を考える会 代表幹事 福西 秀和 氏

新幹線がよいよ来年3月、北海道は新函館駅まで開通する。青森、盛岡、仙台、そして函館までのアクセスがきわめて困難であった北関東との交流を促進させる大きな起爆剤であり、その経済効果は相当なものであろう。このことは、交流機会の増大を望んできた本州・



北海道架橋を考える会にとって待ち望んできたことであり、低迷している日本経済のなか、静かな運動を余儀なくされてきた我々にとってまさに一筋の光明が差し込んできた。何故ならば、会のために新幹線誘致運動の邪魔をしてはならないと明記してあるからである。これからは、今まで、新幹線問題が解決している青森との温度差があった本道側の行政官庁の問題もようやく緩和され、同じ土俵に立つことができる。そして我々の本州・北海道架橋を考える会としても漸く新幹線問題に遠慮することなく行動することができるからであ

る。

さて、ここから架橋の話題を提供させていただく。今まで2回に渡り海外の海峡横断道路の視察をしてきた。それには工事中のものから完成されたものそして、未だ、計画段階のものまでにおよび、幅広く考察する機会であった。その中でタイミング良く工事中から完成され供用されたものとしてデンマークの海峡横断道路を紹介させていただく。

ヨーロッパのデンマークは皆さんのご承知の通り人工はわが北海道と同じくらい。そして、国土面積は約43千平方キロメートルであり、ユトランド半島、フン等、首都コペンハーゲンのあるシェラン等、その他たくさんの島で構成される海洋国家である。国内の主要な島々は16世紀ころから船で結ばれてきた。

1935年にユトランド半島とフン島がリトベルト橋で結ばれ、その後、人口を二分するフン島とシェラン島を結ぶグレートベルト橋の計画がなされた。第2次世界大戦のため中止を余儀なくされ、戦後の1948年に官民合同の委員会の立ち上げを再スタートとし、爾来、幾多の政治的、経済的、国民的試練を乗り越え全延長17.5キロのグレートベルトリンクが完成された。計画から完成まで50年、その前の時代を含めれば、65年のながきにわたって幾多の紆余曲折を超えての完成である。事業主体は政府全額出資による第3セクターである。建設費は、40億米ドルであり、借入金に対しては国家の保証がついていることから、かなり安い金利で資金が調達された。資金は70パーセントがヨーロッパで調達され自国の資金は30パーセントである。この事業の完成でデンマークは、グレートベルト、リトベルト橋を通じヨーロッパと陸続きになったのである。

このグレートベルトリンクの実現には長い時間がかかったため、事業化のために相当の工事の縮減が求められた。そのために、随所に新しい技術

が試されたのは勿論であるが材料やその加工費にも低コストを求めた。たとえば、橋の材料である鋼材にかかる費用をできるだけ低く抑えるため、鋼材の調達と1次加工をイタリア、2次加工は労務費の安いポルトガルでおこなった上で、2500キロ離れた自国のアールベリで最終組み立てを施工した。これは、我が日本にとって、これからの国家プロジェクトとなる物件には大いに参考になることである。

更に、デンマークは、首都コペンハーゲンとスウェーデン第3の都市であるマルメトを結ぶオーレスンドリンクを2000年に完成させる。自国とスカンジナビア半島（スウェーデン、フィンランド、ノールウェイ）とを陸続きにさせるヨーロッパのバイパスとして活用され始めている。このことは、日本のような「国土の均衡ある発展」などの掛け声のお題目ではなく、デンマークの島国である国土の特殊性を強く認識し国土の活用を図り更にはE・Uでの存在を大いにアピールすることに成功している。

グレートベルト、そしてオーレスンドリンクの完成でデンマークの長年の悲願はかなったものと思われたが未だ引き続き計画があるようで我々視察団を驚愕させた。次の計画としては、デンマークの南にあたるドイツと橋で結ぶフェーマリンリンク構想で、先に完成させた2つの海峡横断道路と併せ大きな経済効果が期待できるとしている。

いずれにしても、2つの海峡横断道路を完成させたデンマークは、従来、農業国とされていたのが、フィリップスや、シーメンスという世界的に著名な国際企業が集積するなど産業形体が大きく変化する等、開通のインパクトは大きく、物や人の流れが強烈に活発になったようだ。加えてフェーマリンリンクというドイツとの連絡道路が完成されればその経済効果は計り知れなく、国の発展

を誇らしげに語ったガイドさんを羨ましく思ったのは自分だけではないと思う。ただ、デンマークのG・N・Pが北海道と大体同じくらいと聞きおよび、我々にも十分な可能性があることを知り意を強くしたところである。

新幹線が長い月日をかけ漸く北海道までやってきた。本州・北海道架橋も単なる夢でなくそろそろ夢に日付を記すことが近づいてきたようだ。国際海峡である津軽海峡横断連絡道路の問題は国の背骨をつなぐことであり当然日本国として考えなければいけないことだ。といっても一面、北海道と東北、道南と青森県が中心に受け皿にならざるを得ないのである。

昨今のわが国経済の疲弊感は相当厳しい。公共事業を取り巻く環境も大きく様変わりしている。しかし、わが国が、デンマークと同じように海洋国家であることには変わらない。つまり、世界最高の技術の粋を集めた明石海峡大橋などの技術を失ってはいけないと思う。それは、海洋国家であり、資源の少ない国家として、海峡横断橋の技術を更に研究開発させて国際社会において橋梁分野のリーダーシップを保つことが国益であると思うからである。

また、北海道が日本のために何の役割をするのかということが極めて重要なことである。その一つは、本道の気候、広大な面積を生かした農業だと思ふ。明治の時代から言われてきた食糧基地としてようやく本来の役目を果たすことができるようになってきた。下手をすれば、東南アジアの食糧基地にもなりえるだろう。そのために流通課題をクリアする必要があるのである。当会としては、本道の食糧がトラックで津軽海峡を渡る日を夢みて運動を続けて行きたい。

「すべてのものに不可能な事はない」を信じて……。

## ■ニコニコボックス

五十嵐稔会長、國谷幹事 福西様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

黒島会員 福西さん、後輩の黒島です。本日はよろしくお願ひ致します。

林会員 福西社長、卓話楽しみにしています。

森本会員 家の近くの桜、満開です。

原会員 本日のゲストスピーカー福西様にいつもお世話になっております。卓話よろしくお願ひ致します。

松井会員 会長・幹事頑張ってください。

■広告料 (株)石畑商店 石畑弘樹会員

三光工業(株) 林完治会員

池垣信一税理士事務所 池垣信一会員

## ■出席報告

- ・4月21日(火) 48名中出席29名(免除4名)
- ・4月7日(火) 80.43%

### 市内他クラブ プログラム

|          |         |      |
|----------|---------|------|
| 4月29日(水) | 函館北RC   | 祝日休会 |
| 4月30日(木) | 函館RC    | 自主休会 |
| 5月1日(金)  | 函館五稜郭RC | 自主休会 |
| 5月4日(月)  | 函館亀田RC  | 祝日休会 |

◆テレフォンサービス 26-3170◆

(株)ヤマトイシハタ

石畑 和亮 会員

大縄町14-23 電話 43-2663

及明ビル管理(株)

小林 眞樹 会員

本通1-5-13 電話 53-6037